

■図表2 アウトドアフィットネスのアクティビティ

| アイテム               | 価格(税込) |        | 内容   |
|--------------------|--------|--------|--|
|                    | 会員     | ディユース  |  |
| ランニングセンター          | 0円     | 550円   | ロッカー・シャワールームの利用  |
| テラスリラクゼーション        | 0円     | 550円   | テラスとデッキチェアの利用(3時間)   |
| ファットサンドバイク貸出し      | 275円   | 550円   | 3時間  |
| ホリデイアクティビティ(平日)    | 1,100円 | 1,650円 | テラスレッスン・ボールウォーキングの参加、ボルダリングの利用。テラスリラクゼーション、ファットサンドバイク貸出し、ロッカー・シャワールーム・岩盤浴の利用含む |
| ホリデイアクティビティ(土・日祝日) | 1,650円 | 2,200円 |  |
| アウトドアレッスン          | 550円   | 1,650円 | アウトドアヨガなどアジュール舞子でのレッスン   |
| テラスレッスン            | 0円     | 1,100円 | テラスヨガ・筋膜リリースなど   |



兵庫県立舞子公園では芝生の上で、明石海峡大橋を見上げながらヨガができる

ある兵庫最大級の古墳「五色塚古墳」までの往復など、さまざまなコースを歩き、新しい発見が楽しめる。

また、明石海峡大橋と夕日の絶景が映える「サンセットテラスヨガ」や、明石海峡大橋のライトアップと波音に包まれる「ナイトテラスヨガ」など、シーズンによってタイムスケジュールを変更している。ちなみに、ホテルが定休日の毎週火曜日に行なっているチャペルヨガは、11月から特別プログラム「キャンドルナイトヨガ」を開催している。こうした非日常的なセットレVivoならではの特別プログラムには、相互利用可能な近隣店舗からの利用者も訪

れるという。

そのほか、アジュール舞子の砂浜でのヨガや松林でのヨガなどはイベント形式で行なう。「イベント的な要素を取り入れて、運動する楽しさをもっと伝えていきたい」と柴田氏。なかでも最大のイベントとして、毎年6月第2日曜日には、兵庫県立舞子公園で「国際ヨガ&グローバルウェルネスデー」を開催している。行政が管理する施設の使用にあたっては、事前に企画書を提出して申請を行ない、認可を得てから行なっている。

これらのアウトドアプログラムは、非会員のデイユースの利用も受け付けている(図表2)。ホテルの客室には、アウトドアフィットネスの案内や近隣でできるランニング・サイクリングのコースを記した「アウトドアウェルネスマップ」を置いて、宿泊客のアクティビティとしての役割も担う。

アウトドアフィットネスを含め年間約5万人超が施設を利用して、このうち平均7割くらいが会員だが、特に休日のアクティビティは20歳〜30歳代の非会員の参加も多い。コロナ禍で積極的に新規会員の募集ができないなか、会費収入に依存しない新しいクラブビジネスのモデルに手応えを得つつあるようだ。

実績をもとに「セットレVivoをアウトドアフィットネスの拠点にしたい」。そう柴田氏は意気込む。

今後、高齢化が進むにつれて地域におけるフィットネスクラブの本質的な役割は、マシンの提供よりも緩やかなトレーニングであったり、人の温かみを感じる、地域に密着したサービスに対する需要が高まるはず、というのがサップスの見立てだ。それをクラブ内に限って提供していたのでは、地域密着とは十分にいけない。

現在、同社は運営を受託している神戸・六甲山のスキースクールとグリーンシーゾンのイベントを、セットレVivoで蓄積したノウハウを活かし、年間を通じて教育プログラムとして展開していく計画を進めている。自己認識、意思決定、コミュニケーション、ストレス回避などのスキルを自然のエッセンスのなかから学び、身に付けていくというものだ。対象は小・中・高校、企業・団体、家族、友人、カップルと幅広い。

並行して、地域の公園をアウトドアフィットネスのフィールドとして再生するパークビジネスも構想する。

CASESTUDY アウトドアフィットネス

## ホテルセットレ スポーツクラブ Vivo 自然資源と人的サービスを中枢に 地域との連携を深める

クラブと自然のアクティビティを併用したインスタラクションに特化

明石海峡大橋を望むオーシャンビューのホテル内に、風変わりなフィットネスクラブ「ホテルセットレスポーツクラブVivo」がある(図表1)。

2000年に建てられたリゾートホテルを05年に㈱ホロニックが引き継ぎ、地域の利用をターゲットにした「コミュニティホテル」として再生をスタート。13年から㈱サップスがフィットネスクラブの経営を受託し、もともととウォーキング&マッサージプールがあったエリアをフィットネスクラブに業態転換して、現在のアウトドアとフィットネスが融合した形態に至っている。

プールを廃止したため、業態としてはジム・スタジオ特化型になるが、トレッドミル5台とフィットネスバイク3台、トレーニングマシンがあり、フリーウエイトはない。その代わり、プールを転用した広いファンクショナルエリア、クラブに併設されたテラスでのヨガやスラックライン、ホテルのチャペルを使ったヨガ、隣接するアジュール舞子や兵庫県立舞子公園でのヨガやファットサンドバイクなど、自然資源を活用したユニークなアウトドアプ

■図表1 施設概要

|         |   |
|---------|---|
| 所在地     | 神戸市垂水区海岸通11-1   |
| オープン    | 2013年4月   |
| 事業主体    | ㈱サップス   |
| 延床面積    | 約915㎡+テラス約410㎡  |
| 施設内容    | ジム、スタジオ、ホットスタジオ(岩盤浴)、ファンクショナルエリア、ボルダリング、裸足歩行ゾーン、テラスヨガ、スラックライン、シャワールーム、ロッカー    |
| 月会費(税別) | フルタイム8,500円、デイトタイム7,500円、アフター7,500円、月6回フリー7,500円、月4回フリー6,500円、月2回フリー4,000円 ほか |
| 営業時間    | 月~金曜日9時30分~21時30分<br>土・日祝日10時~18時30分  |
| スタッフ数   | スタッフ10人、インストラクター15人   |

※コロナ対策による時短営業中



プライベートレッスンのような親密感のあるテラスヨガ。ボールウォーキングは仲間と一緒に楽しめる



ログラムが特徴となっている。

「天気がよいときに屋外で運動をしたくなるロケーションが目の前にあるだけでなく、「ぜひやってみよう」と、会員さまの手を引くスタッフやインストラクターがいることが何よりの強みです」と、サップス施設事業本部ディレクター 運営推進チームリーダーの柴田隆寛氏はいう。

兵庫県と大阪府でフィットネスクラブ18店舗を運営するサップスは、繋がりや「育み」を企業コンセプトに掲げている。そして直営店でも「フィットネスクラブがどこも同じとは限らない」「人生を愉しむスポーツクラブへ」を運営コンセプトにしている。

拡大するなか、マシンの提供に特化したジム単体業態とは対極にサップスのフィットネスクラブはある。「一人で運動してもつまらない。スタッフやインストラクターがいるから面白い、運動を楽しめる。そうした人とのつながりに温かみを感じるクラブを体現したのが、ホテルセットレスポーツクラブVivoです」と柴田氏。

さらにクラブ内にとどまらない地域とのつながり、すなわちアウトドアフィットネスを通じて、ホテル、神戸市、舞子公園、アジュール舞子などと連携し、自社の利益だけでなく周辺一帯の活性化を目指す。

クラブには現在、約300人の会員が在籍している(休会者を除く)。女性が